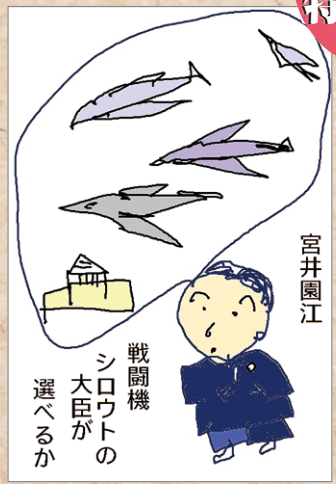


川柳アート

82

選者：川柳アート
八木健（月刊川柳総合誌
「川柳マガジン」三元選者）

特選



宮井 園江
戦闘機
シロウトの
大臣が
選べるか



宮井 園江（松山市）
戦闘機シロウトの大臣が選べるか
「大臣は戦闘機に詳しいのですか」「もちろん、専門的なことは知らんが、モデルは大好きでした」

佳作



愛子（四国中央市）
断捨離で出てくる出てくるエコバッグ
エコバッグの地球にやさしい目的が、これでは逆になりますね。だから「エコバッグ」の行商でもするか。



石原 康正
胃の中でサプリメントが大渋滞
胃の中でサプリメントが大渋滞
テレビのコマーシャルで、俳優さんに騙されて買う。だから「騙されにくくなる」サプリメント飲まなくちゃね。



田辺 進水
出張の夫を送り出す笑顔
この句は、笑顔の裏に隠されている真実を焙りだし糾弾しているのです。送り出し自分の時間になります。



花山 昇
携帯をいじって孤独から逃げる
携帯をいじって孤独から逃げる
孤独から逃げ、携帯が恋人に。出会い系サイトにつなぎ、恋人を見つけて、ふられて孤独になる……。



藤原 白男
生きるには耐えるほかなし磯の松
自然を見て人生を重ねるのでですね。風圧、外圧に耐える人生やっつた。この老松も、腰が曲がってるわい。



宮本 悦子
孫が描く似顔絵シワを見逃さず
婆ちゃんの苦労がシワとなって刻まれている。お値打ちのシワだなあ。シワを消しましょうか。一本百円。



新年の汽笛

（新居浜市・48歳） 悦

大みそか、紅白歌合戦が終わり、寝床に入ろうとした時、海の方から船の汽笛が聞こえてきた。最初、何事かと思ったが、すぐに新年のお祝いの汽笛であると感じた。その音は次第に数を増し重なり合った。まさに新しい年明けを実感する感動的なものだ。その後、「この1年、また無事に過ごせますように」と父の仏前で手を合わせ、眠りについた。

息子の帰省

（新居浜市・47歳） ゆうさん

県外の大学生の息子2人。長男は「今年は何もなしから」と、携帯電話でビデオ通話をしながら年始のあいさつをした。顔は見えないものの、やっぱり寂しい。翌朝、ピンポン、「どなた？」すると寒そうに立っている長男。京都から夜通し10時間かけて、バイクで帰ってきたのだ。うれしくてうれしくて思わずギューッ。次男には連絡していただろうで、私が知っていたら、もちろん寝られない。長男は翌日フェリーで帰った。とにかくうれしかった。ライズの正月だった。

ヒヤシンス

麗香（砥部町・48歳）

小学生の時、1人1鉢のヒヤシンスを育て、観察日記を書く学習があった。私のヒヤシンスは、なぜか芽を出さずじまつた。それは私に妙な劣等感を植え付けた。やがてみんなの鉢は紫やピンクに開花して、いい香りを放った。暮れに花屋で目に留まったヒヤシンス。球根の先にかたいつぼみ。「今度こそは」と思い、玄関に置いた。しばらくして見事にピンクの花が咲いた。私の小さなリベンジだ！

お便り募集

○川柳
テーマは自由。未発表のオリジナル作品に限ります。採用された作品には選者・八木健さんが切り絵やCGを使った「川柳アート」を作り、本誌に掲載の上、採用者にプレゼントします。
○ひろば
エッセーなどを募集しています。テーマは自由、200字以内。誌面の都合上、原稿を割愛、修正する場合があります。ご了承ください。採用の方には、1,000円分の図書カードをお送りします。川柳とひろばのあて先は下記の通りです。住所、氏名、電話番号、性別、年齢をお書きください（ペンネームも可。必ず氏名を記入してください）。
※ご応募いただいた個人情報は、適切に取り扱います。
〒790-8511 松山市大手町1丁目12-1
アクリート編集室 通信係
Eメール accrete@enp-sc.jp